
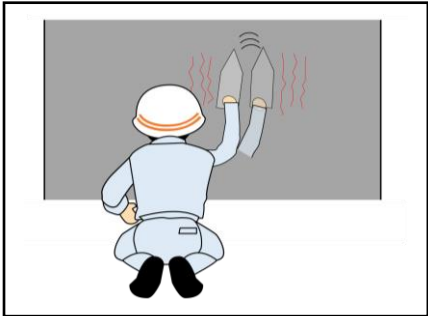
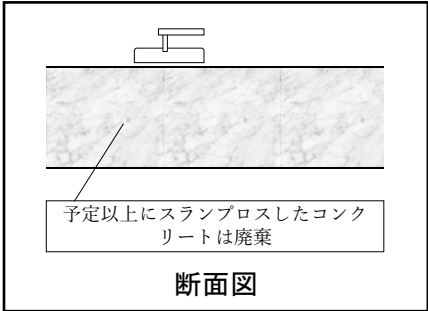
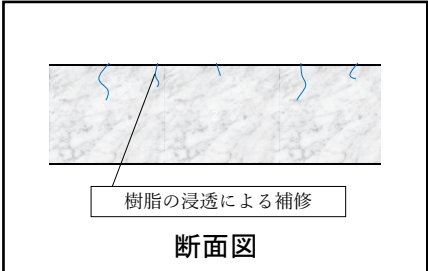


発生箇所	③コンクリート版表面	
分類	材料・施工	
参考箇所	4-8-2 コンクリートの製造と運搬	
●内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑中に施工されたコンクリート舗装の表面に、写真のような細かなひび割れ（しわ）が発生した。</li> </ul>	
●原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工時の気温が高くスランプの低下が想定よりも大きく、フィニッシュャビリティーが低下したコンクリートをコテで無理に仕上げようとした。</li> </ul>	
●発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季施工によるスランプ低下を考慮し、単位水量や単位セメント量の配合調整や、混和剤として凝結遅延剤の使用を検討する。</li> <li>・コンクリートの運搬は現場と連携を緊密にとり、敷きならしから仕上げまで円滑に施工できるように注意する。</li> <li>・仕上げ中にしわを確認した場合はフレッシュなコンクリートなどを用いて仕上げなおす。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
●発生した場合の対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートが硬化した場合、構造的な損傷ではないため、基本的には経過観察を行い、ひび割れの進行が認められた場合はシーリング等を行う。この場合、ひび割れの進行やひび割れ部の挙動が小さいため、比較的剛性の高い材料（セメントスラリーや含浸タイプの樹脂系材料等）を用いるとよい。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>